

工事記録写真チェック表

(この表は主任技術者のチェック用です。印刷・提出の必要はありません)

対象	撮影内容	撮影方法	備考	提出※
	着工前の路面状況	着工前路面の状況が判明できるように写す。		○
	既設配水管の土被り			○
	新設給水管の土被り	スタッフ等を立て、読み目に水糸を張り寸法が正確に読み取れるように写す。		○
	官民境界地点の給水管 土被り			
掘削部分	サドル分水栓の取り出し状況	配水管の洗浄状況・サドル分水栓の設置状況が判明できるように写す。		○
		サドル分水栓の耐圧試験状況が判明できる(5分後の0.75MPaの指針が正確に読み取れる)ように写す。		◎
		バケツへの放水状況・穿孔後のコア及び破片が判明できるように写す。		○
		挿入機に密着コアをセットし、コア挿入前後の状況が判明できるように写す。		◎
		サドル分水栓の防食フィルム巻き状況が判明できるように写す。		○
		配管状況(配水管に対して直角に取り出しているか、土被りが変わっていないか等)が判明できるように写す。		○
		乙止水栓の設置状況(エルボや防食テープの状況)が判明できるように写す。		○
		乙止水栓を開栓した状態でサドル分水栓の方向に水圧テストを行った結果(5分後の0.75MPa)が判明できるように写す。 ※乙止水栓がなく丙止水栓だけの場合は、丙止水栓設置前の給水管に行う		◎
	乙筐、量水器筐の設置状況	設置の向き、場所が分かるように写す。		○
防護部分	埋戻し状況	管上300mmまたは400mmに埋設シートを設置したことが判明できるように写す。		○
	配管状況	使用管種が判明できるように写す。(例:ステンレス鋼鋼管の青線)		○
	離脱防止金具等取付状況	離脱防止金具等取付状況が判明できるように写す。		掘削部分に含めての撮影も可
路床部分	防食状況	乙止水栓等の防食措置の状況が判明できるように写す。		
	通水試験	十分な水圧・水量があることが判明できるように写す。		
路盤部分	路床完了後の深さ	転圧後の埋戻面にスタッフ等を立て、読み目に水糸を張り寸法が正確に読み取れるように写す。		○
路面復旧部分	下層路盤完了後の深さ			
	上層路盤完了後の深さ			
	仮復旧・本復旧状況	路面にスタッフ等を置き、幅と長さが正確に読み取れるように写す。		
その他	仮復旧・本復旧転圧状況	道路復旧規定に定める間隔で転圧し、転圧の深さが判明できるように写す。		○
	路面仕上がり状況	路面の仕上がり状況が判明できるように写す。		○
その他	工事実施前	使用材料の確認(材料一式をシート等に広げまとめて撮影)		◎
	大口径用及び重量のあるメーターボックスを設置する場合	メーターボックスの下にコンクリート製ベース等を設置していることが判明できるように写す。		◎
	他に埋設物がある場合	他のサドル分水栓や管との離隔(上下左右)が300mm以上か、正確に読み取れるように写す。		◎
	分水止めをする場合	サドル分水栓や連合管接合部のキャップ止め、ポリスリーブ巻き戻し状況		◎
		サドルから宅地までの撤去した管の全体の写真を、道路上に一部でも残置していないことが分かるように写す。		◎
	井戸切り替えの場合	井戸管からの切り替え(井戸管の分水止め)状況が分かるように写す ※クロスコネクションでないと分かるよう撮影		◎
	上記以外で工事検査時に確認不可能な部分	当該部分が施工基準どおりに施工されていることが判明できるように写す。		◎

※ ◎の部分は必須。○の部分は、舗装先行工事で同一掘削断面上の複数取出しの場合は、1箇所だけの提出で可